4．街づくりの目標と街づくりの方向性

街づくりの目標は、地区の将来像を実現するために目指すべき方向性を定めるものです。
地区の将来像である「多様な歴史と新しい文化が交流し、共鳴しながら創造するまち　誰もが住み続けられる安全で安心なまち　祐天寺」を実現するための取組むべき街づくりの目標を示します。

目標１
個性あふれる店舗の集積による活力があり、同時に安全で暮らしやすい住環境が確保された街

目標２
安全で快適に移動できる街

目標３
地域資源を活用した歩いて楽しめる街

目標４
豊かな地域コミュニティに育まれる街

街づくりの方向性は、「街づくりの目標」を実現するための基本的な考えや取組の方向性を示すものです。
概ね１０年後を目標に、段階的に進める街づくりの基本的な指針として、具体的に取組んでいきます。

目標１　個性あふれる店舗の集積による活力があり、同時に安全で暮らしやすい住環境が確保された街

１．商店街の活性化

＜多様な店舗の魅力による商業の活性化＞

○カフェ・雑貨・古着屋などの鋭敏な感性が感じられる新しいタイプの飲食店や物販店の出店を踏まえ、地域に密着した商業施設を中心に、街の個性を活かした商店街の活性化を促進します。

＜周辺地域（中目黒駅周辺等）との連携を通じた発展＞

○中目黒駅と学芸大学駅周辺との回遊性や、外国人観光客への対応など、まち歩き観光地としての発展を図ります。

２．暮らしやすい住環境の維持・創出

＜駒沢通り沿道における良好な土地利用の形成＞

○幹線道路沿道にふさわしい商業・住宅の複合した市街地の形成を目指し、一般緊急輸送道路及び延焼遮断帯としての機能確保のため、沿道建物の耐震化及び不燃化を促進します。

＜低層建物と中層建物が調和した複合市街地の形成＞

○低層建物を中心とした住環境の維持・保全を図りつつ、駅周辺や駒沢通り沿道など中層建物が調和した市街地の形成を図ります。

＜空家等の対策＞

○空家・空き店舗等所有者の個別の事情に寄り添うことで、各々の状況に応じた改善策を図ります。空家等対策を通じて、良好な住環境を維持します。

３．安全な街の形成

＜木造住宅密集地等の改善＞

○災害に強い街づくりの実現のため、祐天寺１丁目や上目黒４丁目等の建物の耐震化・不燃化の促進、狭あい道路の拡幅、危険なブロック塀の除去と生け垣化への誘導等を行います。

＜地域避難所における防災機能の強化＞

○本地区内に地域避難所が４か所あり、災害時に機能を発揮できるように取組みます。

＜防犯性に優れた街の形成＞

○明るく見通しの良い住環境や、交番の存在をより分かりやすくするように取組みます。

■街づくりの方向性

■地域商業地
・多様な店舗の魅力による商業の活性化
・周辺地域（中目黒駅周辺等）との連携を通じた発展
・街並み景観の形成

■駒沢通り沿道
・良好な土地利用の形成
・緑化やオープンスペースの確保

■複合住宅地
・低層建物と中層建物が調和した複合市街地の形成

■低層住宅地
・住環境の維持・保全

■木造住宅密集地等の改善

■地域避難所
・防災機能の強化

■主要生活道路
・安全な歩行環境の形成

■バスルート
・安全な歩行環境の形成

■誰もが移動しやすい道路
・祐天寺駅前から主要施設へのバリアフリー化
・散策ルートとして活用

■坂道景観
・坂を活かした街並み景観の形成

■駅前広場
・多機能で魅力ある駅前広場の創出
・防犯性に優れた街の形成

■公園等の活用

■地域資源
・地域資源の情報発信

全体

■空家等の対策

■ブロック塀の除去・生け垣化への誘導

■歩行者と自転車が共存する街

■みどりの保全・創出

■散策ルートの形成
・中目黒駅周辺地域等との回遊性・連携の手法等の検討

■防犯性に優れた街の形成

■地域コミュニティ
・住民主体の街づくり
・多様な交流の機会と場づくり

目標２　安全で快適に移動できる街

１．主要生活道路を中心とした地区内の交通の円滑化と安全な歩行環境の確保

＜安全な歩行環境の形成＞

○通過交通を抑制し、歩行者優先の安全な歩行環境を形成します。

○歩行者とバスが共存できる交通環境の形成を目指し、電線類の地中化を検討します。

２．地域の顔としての駅前広場のあり方と有効利用等の検討

＜多機能で魅力ある駅前広場の創出＞

○交通結節機能及び地域の顔としての駅前広場のあり方と有効利用について検討します。

３．自転車と共存する街づくり等への対応

＜歩行者と自転車が共存する街＞

○自転車利用者が、交通ルールと運転マナーを理解し、守るための取組を促進します。

○誰もが安心して通行できる自転車走行環境の整備を図ります。

目標３　地域資源を活用した歩いて楽しめる街

１．魅力ある景観の形成

＜街並み景観の形成＞

○街の歴史や文化、坂道などの特徴を活かした街並み景観形成のあり方について検討します。

＜地域資源の情報発信＞

○「祐天寺」をはじめとした地域の観光資源の積極的な情報発信や来訪者へのおもてなし向上を図ります。

２．みどりの保全・創出と魅力ある散歩道等の形成

＜みどりの保全・創出と公園等の活用＞

○民有地のみどりの保全・創出を促進します。

○公園・広場等について、地域の活性化につながる整備及び、地域住民の活動支援を図ります。

○駒沢通り沿道における緑化などを促進します。

＜散策ルートの形成＞

○中目黒駅や学芸大学駅周辺地域等との回遊性や連携の手法等を検討します。

○目黒区交通バリアフリー推進基本構想の主要経路について、来訪者が訪れる際の散策ルートとして活用を図ります。

目標４　豊かな地域コミュニティに育まれる街

１．住民が主体となった街づくりの実現

＜住民主体の街づくり＞

○地域コミュニティ活動の一層の活発化・連携強化を促進し、街づくりの課題について、自ら解決に向けた取組を促進します。

２．多様な主体が交流する街づくりの展開

＜多様な交流の機会と場づくり＞

○子どもからお年寄り・新しい居住者など誰もが街づくりに参加する機会を作り、支えあいながら安心して暮らすことができる街づくりを促進します。

○多様な主体が交流し、コミュニティの形成につながる機会や場を作ります。

5．街づくりの進め方

1．基本的な考え方

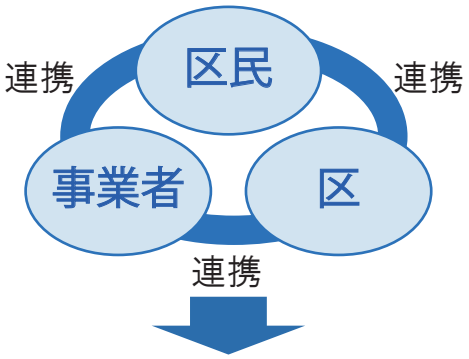
整備構想の策定を機に、今後、地域で街づくりに取組んでいくためには、「区民」「事業者」「区」のそれぞれが自主的に役割を担い、連携しつつ、協働による街づくりを実践していくことが必要です。

そのため、それぞれの主体が担うべき役割を果たし、街づくりの課題やテーマに応じて、互いに連携できる場を創り出していくことが必要です。

整備構想を実現していくためには、各種事業の実施とともに、地域独自の街づくりを実践していくことが必要となります。

「区民」「事業者」「区」は、それぞれの役割に応じて、連携を図りながら積極的・主体的に街づくりに取組んでいきます。

協働による街づくりの実践のイメージ



地域独自の街づくりを実践

2．それぞれの主体が果たすべき役割

区民の役割	事業者の役割	区の役割
①街づくりへの参加 ②街づくり活動の継続 ③街づくり活動の実践	①地域の街づくりの尊重 ②街づくりへの参加	①街づくりの支援 ②住民参加の街づくりの推進 ③多様な主体との連携

3．段階的な取組の実践

令和元年度に、本整備構想を実現していくための具体的な整備の方向性を示す「整備方針」を策定し、令和２年度は更に詳細な計画として「整備計画」の策定を行う予定です。

そして、令和 3 年度以降は、「整備計画」に基づく、具体的な街づくりを「区民」「事業者」「区」の連携・協働により実践していきます。

■協働による街づくりの実践の流れ

年度	取組内容
令和元年度 （2019年度）	■祐天寺駅周辺地区整備構想の策定 ・地区の課題等を踏まえた、地区の将来像や街づくりの目標、街づくりの方向性を設定
	■（仮称）祐天寺駅周辺地区整備方針の策定 ・地区の将来像や街づくりの目標を実現するための基本的な方針（アクションプラン）、整備メニュー例を設定
令和２年度 （2020年度）	■（仮称）祐天寺駅周辺地区整備計画の策定 ・整備メニューを実現する実施主体及びスケジュールを設定

令和３年度 （2021年度） 以降
■具体的な 街づくりの実践 ・「整備計画」の内容を踏まえた具体的な街づくりを実践

発行　目黒区
編集　都市整備部都市整備課
〒153-8573　東京都目黒区上目黒二丁目 19 番 15 号
TEL：03-5722-9714（直通）